



[IMG 4533](#)

九州生まれの瀧口敬文さん(68歳)は10年前に神奈川県から南伊豆町入間の差田に移住し、葡萄園を始めました。田舎暮らしに憧れていた瀧口さんは早期退職を選択、釣りのメッカ南伊豆町に来ました。



[IMG 4558](#)



[IMG 4544](#)

栽培するのは5種類の大粒ブドウです。収穫時期が少しずつずれているので8月初旬から9月初旬まで、その時旬の品種を楽しむことができます。



[大井上研究所](#)



[富士山](#)

ところで皆さん、ブドウの王様巨峰が生まれたのは静岡だということをご存知でしたか？ピオーネや藤稔などの源流である巨峰は大井上康氏が1919年(大正8年)修善寺の東、伊豆市上白岩に設立した大井上理農研究所(写真左上=今は資料館)で開発されました。巨峰と言う名前は、その研究所から見える「富士山」に因んだものだそうです。大井上氏は政府の支援を[日本巨峰会ホームページ](#)得ることが出来ず、苦勞の末、巨峰を完成させたそうです。詳しくはご覧下さい。



[IMG 4542](#)



[IMG 4549](#)

瀧口葡萄園ではぶどう狩りはしていませんが、ぶら下がっている中から試食をさせてくれ、自分の気に入った房をその場で切り取ってくれます。もし中に傷んでいる玉があったら、それを取り除いた後の重さで測り売りですから安心です。

瀧口さんは、大粒で、甘くて、多汁の特別に美味しいぶどうを目指して土の改良に努めました。一番苦労した点はブドウを狙う虫やネズミ、猿と言った動物、そして病気だったそうです。



[藤稔](#)



[IMG 4534](#)

藤稔8月初～下旬(写真左上)は親がピオーネと井川682の大粒種、瀧口葡萄園の主力品種。食べるワインと呼ばれ芳醇で果汁溢れる紅伊豆(右上)は栽培と取り扱いが容易ではない為、一般のスーパーなどではなかなかお目にかかれない貴重なものだそうです。



[IMG 4541](#)



[黄玉](#)

ゴールドフィンガー8月中旬(左上)は皮ごと食べられ透き通った甘さが女性に大人気。黄玉8月中旬～9月初旬(右上)はハーブの様な香りと強い甘さが特徴。



[IMG_4539](#)
大粒ピオーネ8月下旬～9月初旬(上)は優しい甘さの癒し系、瀧口さんお勧めの品種です。

瀧口葡萄園 南伊豆町入間2352-2(差田グラウンド向い)

取材:生きがい特派員賀茂地区担当 福居通彦

[日本巨峰会ホームページ](#)